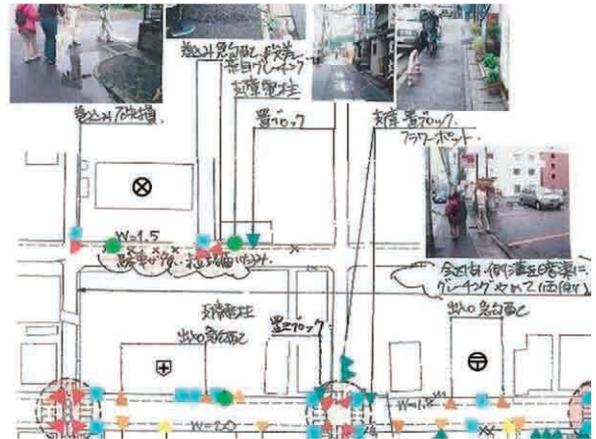


チャレンジしよう！ まちの探検 たんけん

車いすの乗ったり、ベビーカーをおしたり、高齢者や障がい者など・いろいろな体験をすると、いつもと違う「まち」が見えてくるかも。

みんなで探検してマップをつくってみよう！
どんな工夫をすれば

「やさしさいっぱいみんなのまち」になるのかな？



マップの例

☆バリア点検 (まちの探検) の進め方 たんけん たんけん すす かた

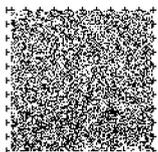
- ①点検する目的やチェックすることを確認します。
- ②点検の道順と係 (写真係、記録係、測定係など) を決めます。
- ③点検開始。
- ④点検でわかったことをひとつのマップにまとめましょう。
- ⑤マップができたなら、気づいたことをみんなで話し合しましょう。



※交通ルールを守って点検しましょう。

☆チェックすることの例 れい

- ①歩道は歩きやすいかな？ (車いすでもすれちがえる幅、路面のでこぼこや傾きなど)
- ②障害になる物はないかな？ (自転車、車、看板、商品、ゴミなど)
- ③目の不自由な人も歩きやすいかな？ (点字ブロック、音の出る信号機など)
- ④案内はわかりやすいかな？ (公共の建物への行き方、公共トイレの場所など)
- ⑤バス停は利用しやすいかな？ (屋根やベンチ、行き先や時刻表の見やすさ、乗り降りのしやすさなど)
- ⑥そのほか、歩行者の歩き方や自転車に乗っている人のことなど。



しらべてみよう

インターネットや
ほんでもっと調べて
みたいな。



けんぽう じょう 憲法 25 条

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

2 国は、すべての生活部面において、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

ほう バリアフリー法

高齢者や身体に障がいのある人などが、公共の建物や交通機関を円滑に利用できるように、1995年にハートビル法、2001年に交通バリアフリー法がそれぞれ施行されました。

また、それらが統合されて2006年にバリアフリー法が施行されました。

こ けんり じょうやく 子どもの権利条約

子どもの人権（社会において幸せな生活をおくるためにどうしても必要で、人間として当然持っている権利）や自由を尊重し、子どもに対する保護や援助（手助け）を進めることをめざしている条約です。日本は、1994年にこの条約を結びました。

しょうし こうれいしゃがい 少子高齢社会とは

日本は、いま、世界で一番高齢者の割合が多い国です。一方で、生まれる子どもの数は減り続けており、21世紀の半ばには、約3人にひとりが65歳以上になると予測されています。

しょうがいしゃ そうごうし えんぽう 障害者総合支援法

障がい者（身体障がい・知的障がい・精神障がい・難病等）の日常生活や社会生活を総合的に支援するために制定された法律です。（2013年4月から施行。ただし一部の項目は2014年4月から）

はつたつしょうがいしゃ し えんぽう 発達障害者支援法

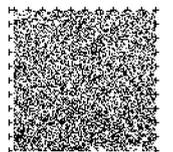
国や市町村が、発達障がいを早く発見し支えていかなければならないことを定めた法律です。学校教育や仕事など、生活のさまざまな場面で支援の必要があることが明記されました。（2005年4月から施行）

【ノーマライゼーション】

おとしりや身体の不自由な人が、障がいがありながらも、健康な人と同じように日常生活や社会の中で活動することが、当たり前（ノーマル）であるという考え方。

【ユニバーサルデザイン】

年齢や体力、身体に障がいのあるなしに関係なくすべての人が、できるだけ利用できるように、最初から設計された製品や建物のデザインのことを指します。



松戸市内の福祉のまちづくりに関する公的機関

名 称	住 所 連 絡 先	主な内容の紹介 ホームページ
松戸市	松戸市根本 387-5 047-366-1111	都市計画、福祉、子育て、などの担当部課にわかれてさまざまな施策を展開しています。 https://www.city.matsudo.chiba.jp
松戸市社会福祉協議会	松戸市上矢切 299-1 047-368-0503	ボランティアセンターではボランティアの募集、養成、紹介をしています。その他、車いすや福祉体験用具の貸し出しなどを行っています。 http://www.matsudo-shakyo.or.jp
松戸市障害者団体 連絡協議会	松戸市五香西 3-7-1 ふれあい 22 3階 047-383-5551	市内のさまざまな障がい者団体が加盟していて、定期的に情報交換などを行っています。 https://sites.google.com/view/matusyoukyou
松戸保健所 (松戸健康福祉センター) 地域福祉課	松戸市小根本 7 047-361-2121	赤ちゃんからお年寄りまで、松戸市民の健康に関する取り組みを行っています。障がいなどの相談窓口があります。 https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-matsudo
国土交通省 関東技術事務所 (建設技術展示館)	松戸市五香西 6-12-1 047-394-6471	車いす体験や白杖体験ができます。 (要予約) https://www.kense-te.jp

やく た
役に立つ
ホームページ

一般財団法人運輸振興協会「みんなのりもの やさしいのりもの」

<https://www.transport-pf.or.jp/yasasii/index.html>

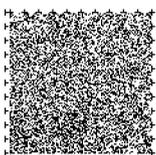
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
バリアフリー推進事業

<https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/index.html>

*バリアフリーまつど市民会議とは・・・

まつど しこうつう きほんこうそう さくてい
「松戸市交通バリアフリー基本構想」の策定をきっかけとして、「バリアのないまち」を願う市民
によりけつせい かいじんひとり じはつせい そうい せんちゆう かつどう
けつせい かいじんひとり じはつせい そうい せんちゆう かつどう
性性を大切とし、行政や関連事業者との必要な協働も追求しています。また、会の自主
せい たいせつ きょうせい かんれん じぎょうしゃ ひつよう きょうどう ついきゅう ひろ しみん ひら だんたい
性を大切とし、行政や関連事業者との必要な協働も追求しています。広く市民に開かれた団体です。

つき かい ていれいかい じく てんけん つく きょうせい ていげん かいさい ほか
月1回の定例会を軸に、まち点検とバリアマップ作り、行政へ提言、フォーラムの開催、他のま
ちづくり団体との交流なども進めています。



お わ り に

この本は、平成17年7月に策定された「松戸市交通バリアフリー基本構想」のひとつとして、身体に障がいのある人やボランティア活動をしている市民が、市と協働で作成しました。

現在、松戸市や鉄道・バスなどの各事業者は、道路や駅などを誰もが利用できるように、計画的に整備しています。しかし、整備が完了しても歩道上に物や自転車が放置され、まちのバリアとなって機能が十分に生かされないこともあります。

わたしたちは、このような「バリア」＝「暮らしにくさ」を市民の一人ひとりが作らない、また困っている人を見かけたら、「お手伝いしましょうか？」と声をかけられるまちにしたいと思っています。

本の内容については、小学生にも親しめるようにイラストを中心にわかりやすく表現しましたが、多くの人にも読んでいただきたいと思っています。

みなさん一人ひとりが「まちのサポーター」です。
みなさんの力で、「やさしさ いっぱい みんなのまち」になることを願っています。

◇ 編集 松戸市 都市整備本部
バリアフリーまつど市民会議

◇ イラスト 井上恵子 岡田浩子



◇ 謝辞 本を作成するにあたり、聖徳大学生涯学習研究所や松戸まちづくり交流室、また多くの障がい者団体や個人のご協力をいただき、ありがとうございました。

